YUME NO JINZU KAIRO

夢の神通回廊

富山城から、富山港への舟運を復活させよう

全国運河サミット（1999年）で、富岩運河・中島閘門探検クルーズが始まる。松川遊覧船「滝廉太郎二世号」の就航で、富山城から富山港への、舟運復活の夢が広がった。

環水公園はかつての神通川の中にあり、遊覧船で繋がれば、水の都の歴史が蘇る

富山城から富山港への舟運を復活させ、街の賑わいを取り戻そうと、松川に遊覧船が就航してから早20年。その後、中島閘門、牛島閘門も復元され、後はいたち川の水位差を克服できれば、「夢の神通回廊」構想の一つが現実化する。

森市長も「松川といたち川の水位を、何らかの方法で一定化できれば、今ある遊覧船が、環水公園やいたち川上流へもいけるようになる」と夢を語る。

1999年8月、全国運河サミットで、松川遊覧船「滝廉太郎Ⅱ世号」が、富岩運河での初の体験クルーズを行った。あれから7年。今年1月21日、「運河のまちを愛する会」が「運河のまちこれから」を開催、会長の竹内茂さんは、「ライトレールが4月29日にスタートします。あわせて富岩運河をもっと生かせないか考えましょう」と提案。

出席したパネリストや市民からは、「松川の遊覧船をいたち川、運河へ乗り入れてほしい」、「遊覧船とライトレールと繋いで、回れるようにできないか」といった、活発な意見が出された。愛宕校下自治振興会会長の西村淳一さんも、『夢の神通回廊』の実現で、松川、いたち川、運河を繋いで、遊覧船が行き交うようにしてほしい」と、夢を語る。いま、運河の活用策を考える気運が盛り上がってきている。GL

奥田校下自治振興会
運河のまちを愛する会
会長 竹内茂さん